

### その時、歴史が動いた

研究推進部長 丹生 憲一

10月22日第2学年の総合の時間に、丹波新聞社社長・荻野祐一さんにお越しいただき、お話いただきました。ここまで、基本的な台湾の歴史や地理について読み、後藤みなみさんのお話を聞き、映画「八田来」「KANO」を鑑賞し、夏休みは各自が課題について調べて発表してきました。いよいよ、台湾総督を務められた丹波人・田健治郎について、日本の歴史と絡めながらのお話です。

田健治郎（幼名 梅之助）は1855年（安政2年）に柏原で生まれました。田艇吉（JR福知山線の元になった阪鶴鉄道を開通させた人）は三つ上のお兄さんです。健治郎は腕っぶしが強く、お兄さんが喧嘩で負けて帰ってくると、仕返しに飛んでいくようなタイプだったようです。幼い日のエピソードとしては、鳥の巣を取りに上がっていたお兄さんの梯子を外し、屋根から落ちたお兄さんが大けがをしたということもあったようです。教育熱心なお母さんは、艇吉を小島省斎（佐治の儒者・崇廣小学校の前身、崇廣館の創設者）、健治郎を渡辺弗措のもとへ勉強するために弟子入りさせました。参勤交代に同行させてもらった健治郎は、ますます向学心を刺激されたようです。ちなみに、小島省斎の進言により、柏原藩は他藩にさきがけて新政府側についたことから、明治政府を打ち立てた藩として「薩長土柏」と呼ぶ説もあったとか…。

優秀な健治郎の噂は広まり、あちこちから縁談話がありました。やがて、和田山の太田家へ養子に入ることになりますが、勉学への熱意は高まるばかりで、ついに離縁を申し立て東京へ出ていくことにしました。この時、神社の壁に次のような詩を書き残したそうです。

### 「男児 志を立てて郷関を出ず 学若し成る無くんば死すとも還らじ」

名古屋裁判所、神奈川県警に勤め、そこで当時の通信大臣・後藤象二郎と出会います。これがきっかけで、逓信省に入った健治郎は鉄道の国有化に取り組み、兄のいる阪鶴鉄道を含む13社を国有鉄道としたということです。

1919年（大正8）、初の文民総督として台湾の第8代総督に任命されます。当時の首相は原敬。そこには、日本の軍部支配に対する民衆の反発を緩和したいという狙いもあったようです。就任にあたり健治郎は次のような訓示を述べました。

- ① 台湾の人たちを帝国臣民として同化するため、優秀な人物は役人に登用する。
- ② 日本人と台湾人の婚姻を認める。
- ③ 義務教育を実施し、中等教育以上での日本人・台湾人の共学化を進める。
- ④ 温情をもって人民に接する。
- ⑤ 交通の便を整える。
- ⑥ 水利の改善に努める。（八田与一さんのダム着工 1920年）
- ⑦ 衛生面の改善に努める。
- ⑧ 地方自治を改善する。
- ⑨ 貯金を勧める。



芦田均さんは明治後半から昭和にかけて、ロシア革命や太平洋戦争の終戦を経験されましたが、ここに幕末から明治、大正と、参勤交代や廃藩置県を経験した人もいるのですね。…旧制柏原中学もない時代のお話でした。まさに、皆さんの立っているこの地から歴史が動いていったのです！

平成も最後の年となり、新しい時代を迎えようとしている今、次の歴史を動かすのはこれを読んでいる君かもしれません。

### 10月12日（金） 第1学年総合 第11回

10月第一週に行われた探究 WEEK の講座で学んだ内容を、クラス内で報告しあいました。それぞれ、2講座までしか聞くことはできませんでしたが、これによって他の講座の内容を断片的にでも学ぶことができたと考えています。1・2年生のHRでは来年の選択科目、類型選択に関して担任の先生との面談が進んでいます。探究 WEEK を通じて聞いた話が、その一助になることを願っています。

### 10月11日(木) 22日（月） 第3学年総合 第10・11回 3学年総合担当 吉崎 淳

引き続き、それぞれの講座に分かれての授業を行いました。各講座の目指すところは様々ですが、自身の進路に直結する講座を受講している生徒の表情は真剣そのものです。折しも大学や専門学校のAO入試・推薦入試がスタートすることもあり、間近に迫ってきた“決戦の日”をイメージしながら受講している者もいるようです。また、キャリア教育に関する講座では外部講師に来ていただき、いろいろな分野の専門家からのお話を聞く会も予定されています。多方面からの知的刺激を受けながら、学びを深めてもらいたいと思います。（外部講師として11日にはマネックス証券・宮本祐一さんが「投資とは何か 自己投資と職業・お金との付き合い方」、22日には京都大学・教育学部3回生の中澤歩さんが「大学生として考える…これからの時代を読み大学で学ぶということ」と題してお話してくださいました。）



### 10月23日（火） 第2学年探究 第14回

11月13日に中間報告を控え、これまで進捗状況の芳しくなかった班も、目の色を変えて取り組んでいます。アンケートを取った人たちは、エクセルの使い方を教わりながら、集計の仕方、グラフ化などに取り掛かっていました。



### 10月24日（水） 第1学年探究 第11回

テーマに基づいて、グループ分けを行い5人ずつ8つの班を編成しました。次回からはそれぞれのグループで、「観光促進」「農の活性化」など具体的なテーマ・課題について探究活動を進めていきます。